

さんけん新聞

発行
NPO法人
三段峡—太田川
流域研究会
(代表・本宮炎)

〒731-3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木1734
090-34213046

https://sanken-
hiroshimaorg/

一口メモ

▼暖冬異変
異常なほどの暖冬に
なった。例年なら雪崩
や落石で探勝路は塞が

れ、踏み込むのは危険
だが、今年には何本
ものツララが下がり、
牙をむいているように

見えるのだが、この冬
はそれが無い。優しく
なってしまう狼、む
しろその姿が不気味に
さえ感じた。

広島市内の中高校生十二人・安芸太田中学生三人

自然や歴史流域のつながり学ぶ

太田川ジュニアリーダー研修

太田川流域振興交流会議(国、県、安芸太田町など太田川流域の七市町で構成)から、さんけんに委託された「太田川ジュニアリーダー研修」が一月二十日、深入山で開かれた。中高生十五人が上流の自然や歴史、流域のつながりを学んだ。

の上野吉雄さんが指導して、受講した高校生は「安芸太田町と都市部とが太田川でつながっているのが理解できなくて話していた。さんけんの本宮炎理事長は「現地で自分が発見し、体験するのが本物の学びになる、継続的な事業にしたい」と、手ごたえを感じていた。

参加したのは広島市内の子供会をサポートしている中高生十二人と安芸太田中学生三人。期待した積雪はなく、野生動物の足跡は観察できなかったが、座学やフィールドワークに取り組んだ。

「安芸太田町長期総合計画」読み会 項目別に要約を公表 子育て・医療など13人が分担



安芸太田町内のファシリテーション勉強会「FMC」(事務局・さんけん)が一月二十四日、「第二次安芸太田町長期総合計画」を読み会を同町社会福祉協議会の社協会議室で開いた。写真。読み会では事業者や住民十三人が、同計画の定住・人口対策や子育て・教育、医療・福祉、防災・防犯などを項目別に分担して要約を毎月にも開催を予定している。「読み会」は町が目指す方向を知り、地域活性化の取り組みに生かすため、グループリーディングと呼ばれる手法を参考にして「FMC」が企画した。

組織マネージメント研修 大阪のNPO法人を視察 「DMO視野に」の助言

組織マネージメントを学法人を視察した。

深入山の歴史と自然、広島市内との関連性をさんけんの小林久哉副理事長が講義し、フィールドワークで西中国山地自然史研究会の事務局長が、一月十五日と十六日の両日、大阪の四NPO

は、DMO(官民が連携して地域観光を推進する法人組織)を視野に入れるべきとのアドバイスをもらった。関西子ども文化協会、吹田市音楽療法推進会、吹田

市立市民公益活動センターラコルタでは、段階的な行政との協働や自主事業の取り組みの具体例を聞いた。プロセスの作成、段階ごとの達成度評価をしながらの運営の大切さを学んだ。

同長期計画は二〇一五年から二四年までの十年間で、町は現在、後期五年の基本計画を策定している。



上野さん(右)から動物の説明を聞く中高生

南峰と歩く

⑱

出合淵(であいぶち)

木々の姿を投影 静寂のおもむき

三段峡の入り口で最も下流が正面口で、二番目が水梨口である。深入山の麓、国道一九一号の交差点から谷側へ折れる。急坂を下りきったあたりから水梨川沿いを走る。川には厚く石が堆積して、流れが見られるのはまれである。名は「水

無し」に由来するのだろうか。名称長らく消える

へ直接流れ込んでいる。「西岸から長い淵の上をおおうようにして枝を差し延べている木々の姿、またその姿が淵に投影している静寂

が、出合淵の名は戦後のガイドブックや案内板には長らく登場していない。

峡内の他の出合にも橋はある。水梨口の橋を出合橋にすると混乱を招くのに、戦後、一貫して案内図に載っている。おそらく出合淵からとった名だが、地図上では重なり、探勝路からは見えない本家の出合淵が消えたのだろう。(松尾 俊孝)

水梨だけが出合橋

水梨川の河口近くに探勝路が通る小さな橋があり、出合橋と言う。南峰のころからあつたが、名の記載はない。

者も思わず足を停める。」と、熊南峰は描いている。南峰は景勝として必ず挙げている

水梨川の河口近くに探勝路が通る小さな橋があり、出合橋と言う。南峰のころからあつたが、名の記載はない。

峡内の他の出合にも橋はある。水梨口の橋を出合橋にすると混乱を招くのに、戦後、一貫して案内図に載っている。おそらく出合淵からとった名だが、地図上では重なり、探勝路からは見えない本家の出合淵が消えたのだろう。(松尾 俊孝)

夢はでっかく世界遺産

齊藤 泰行さん

この人



1933年生まれの86歳。28歳の若さで戸河内町議会議員に当選した。丸山町長らに働きかけ、深入山を中心にした観光地開発に力を注いだ。議員生活は40年。

2009年に郷土史研究会に入り、現在は戸河内支部会長。セリエ戸河内に収蔵されている民俗資料などを整理し、「三段峡美術館」の設立を目指す。「安芸太田町は観光の町、三段峡を世界遺産にしたい」と夢はでっかい。自宅離れを「安芸の国 西中国山地国定公園 松原歴史文化記念館」に改装した。三段峡の写真がたっぷり、郷土資料が並ぶ。電話 0826-29-0109 (炎)